

チャペル週報

No.6

2024.5.13～5.17

一同は聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、
他国の言葉で話し出した。

使徒言行録 2章4節



山川記念館（西宮聖和キャンパス）

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00 神戸三田キャンパス 10:40~11:10
場所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

5月13日(月) 神 人 建 アジア祈禱日を覚えて 日下部 春希(神学部4年) 濱田 紘瑛(神学部4年)
井上 有希子(グループホームあすなろサービス管理責任者)
谷口 真紀(建築学部准教授)

5月14日(火) 神 文 社 法 経 商 国 理・工・生環 総 教 レインボーウィークを覚えて 森本 典子(神学部専任講師)
Andreas Rusterholz(宗教主事)
大学とはどんなところか④ 松宮 園子(社会学部教授)
大宮 有博(宗教主事)
建学の精神① 舟木 譲(宗教主事)
松本 雄一(商学部教授)
宗教総部
Christian Triebel(宣教師、学長直属助教)
村瀬 義史(宗教主事)
宗教総部

5月15日(水) 神 社 法 商 人 国 理・工・生環 教 主の祈り④ 小田部 進一(神学部教授)
大学とはどんなところか⑤ 佐藤 哲彦(社会学部教授)
Janette McIntosh(宣教師、国際学部教授)
禪野 美帆(商学部教授)
嶺重 淑(宗教主事)
小林 敏男(国際学部教授)
前川 裕(宗教主事)
梶原 直美(宗教主事)

5月16日(木) 神 文 社 法 経 商 人 国 総 短大 主の祈り⑤ 橋本 祐樹(神学部准教授)
Andreas Rusterholz(宗教主事)
大学とはどんなところか⑥ 今井 信雄(社会学部教授)
郭 世宗(神戸基督教改革宗長老会主任牧師)
建学の精神② Christian Triebel(宣教師、学長直属助教)
木原 桂二(宗教主事)
井上 智(宗教センター宗教主事)
Chapel in English Janette McIntosh(宣教師、国際学部教授)
村瀬 義史(宗教主事)
春季キリスト教週間 中道 基夫(院長)

5月17日(金) 神 文 経 理・工・生環 Eco - Habitat 関西学院
Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)
建学の精神③ Timothy O. Benedict(宣教師、社会学部准教授)
薄井 良子(日本聖公会奈良基督教会 信徒)

◇ランバス早天祈禱会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

5月17日(金) 春季宗教運動を前にして 橋本 秀樹(生命環境学部教授)

Zoomでご参加希望の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へメールでお知らせください。

ペンテコステに祈る

小田部 進一

人間とは何者でしょうか。「人は私たちから、すべてを取り去ることができる。生をさえ取り去ることができる。しかし、人は私たちから死を取り去ることはできない。死はもともと、私たちに最も固有なものなのである」(エバーハルト・ユンゲル)。そのように人間は死を認識し、その死と向き合いながら生きる存在です。このような死が私たちの心を捕らえる時、恐れと喪失感、また生への執着心から身動きがとれなくなることがあります。先生として慕ってきたイエスが十字架刑という無残な死を遂げた時、イエスの弟子たちもまた恐れから家に鍵をかけて閉じこもっていたと聖書は伝えています。しかし、聖書の伝承はそれで終わりではありません。復活のイエスとの出会い(イースター)、そしてそれから50日目のペンテコステ(ギリシア語で50番目の意味)の出来事を通してイエスの弟子たちに起こった変化を伝えています。

ペンテコステは、イースターとクリスマスに並ぶキリスト教の三大祝祭日の一つで、聖霊降臨日とも呼ばれています。聖書は、家の中にいた弟子たちが「聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話し出した」(使徒言行録2章4節：新共同訳)、と伝えています。「聖霊で満たされ」とはどういうことでしょうか。わたしは、一連の出来事を通して弟子たちが恐れから自由になり、家の鍵を開けて出ていき、他者と出会い、「喜びと真心をもって食事を共にし」(同上2章46節)、共に生きる世界を創り出す者たちと成った、ということに注目したいと思います。そのような意味で、国籍や言語の壁を越えて、いま共に生きることに確かな意味があることが確信され、それが実践されているところに聖霊は働いており、私たちは気づかないところで聖霊の働きによって支えられているのかもしれない。

ペンテコステは、教会の誕生日として祝われてきました。キリスト教には、神の前であらゆる境界線を越えて共に生きる共同体のビジョンがあります。聖霊は、私たちにこのビジョンを示し、そこへとチャレンジさせる神の働きです。他者のために祈り、他者に祈られて、わたしたちは時間と空間をも越えて共に生きる人間と成ります。先達たちの祈りに合わせて、チャペルの時間に、関西学院のすべての営みの上に聖霊の働きが豊かにあることを祈ります。

(神学部教授)

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

関西学院の基盤となる基督教の言葉やシンボル、関西学院の精神について語るメッセージビデオです。基督教主義教育のエッセンスに触れるとともに、皆さまの心の糧としてご視聴ください。(月2回程度更新されます)



<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回チャペルアワーを実施しています。場所は1405教室です。どなたでもご自由にご参加ください。

6月13日(木)17:50~18:10 井上 智(宗教センター宗教主事)

●大学基督教週間 宣教師企画

NUCチャペル・ツアー

西宮上ヶ原キャンパスにあるチャペルを見て回ろう!

日 時:5月24日(金)13:20~15:00

対 象:新入生及び興味ある学生

集合場所:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

※参加したい方は、右のQRコードにてご申請ください。(先着20名)



映画上映会

上映作品:『神々と男たち』(2010年、フランス)

日 時:5月24日(金)17:00~19:30

場 所:図書館ホール(西宮上ヶ原キャンパス図書館の地下1階)

参加費:無料(どなたでもどうぞお越しください)

主 催:宗教センター

協 力:宗教総部、聖書研究会“ポプラ”

※参加したい方は、右のQRコードにてご申請ください。(先着90名)



●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。4月から関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

5月13日(月)関西学院ウィメンズ・グリークラブ

6月14日(金)関西学院大学混声合唱団エゴラド

6月24日(月)関西学院ハンドベルクワイア

7月1日(月)関西学院バロックアンサンブル

7月4日(木)関西学院聖歌隊

7月8日(月)関西学院交響楽団

いずれも12:45~13:15 <入場無料>

場 所:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催:宗教センター・宗教音楽委員会

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の10:00~11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

5月26日(日)10:00~11:00